

## 認定者4000人超す

キャリア段位、新たに1439人

シルバーサービス振興会は4日、介護プロフェッショナルキャリア段位制度のレベル認定者が2017年度に1439人誕生し、12年度の制度創設から累計で4003人になったと発表した。レベル認定者は老人保健施設、特別養護老人ホーム、訪問介護事業所で6割強を占める。

同制度は講習会を受講したアセッサー（評価者）が全国共通の項目で職場内の職員の介護技術を評価し、1～4段位でレベル認定するもの。職員の意欲向上などにつながる一方、認定にかかる現場の負担が重く認定者数が伸び悩み、17年11月に評価方法などが見直された。（榎戸新）